ネットワーク206 北海道部会

コージェネ普及へ連携
低炭素社会の実現に貢献

札幌医科大学に設置されたコージェネ

日本ガス協北海道部会は、北海道ガスの「コージェネレーションシステム普及促進」と低炭素社会実現に貢献することを目的に、2013年から勉強会を行っている。同部会の幹事会社である北海道ガスが、「都市ガス・燃料電池コージェネ共同事業」の事務を行っていることから、今年度の活動内容について、同部会の幹事会社である北海道ガスの担当者に聞いた。

きっかけは北海道庁

北海道のガスは、12年8月に経産省資源エネルギー庁に「燃料電池コージェネ共同事業」を提案した。当時、北海道庁は、「燃料電池コージェネ共同事業」が重要であり、それが当面ガスがコージェネを普及させるためのキーポイントであるとの認識であった。それを理念だけに終わらず、具体的な動きとしてくりかえすことが重要であり、それが当面ガスがコージェネを普及させるためのキーポイントであるとの認識であったことに、日本ガス協会が賛同した。

金沢副本部長

「官民連携事業を通じてコージェネ共同事業を推進することで、北海道庁の知名度を高め、地域の活性化に繋がる。また、北海道ガスはコージェネ事業のコア事業であり、北海道ガスの成長に繋がる。北海道ガスの成長は、北海道経済の活性化に繋がる。」と力説している。北海道ガスは、「官民連携事業を通じて、コージェネ共同事業を推進することで、北海道庁の知名度を高め、地域の活性化に繋がる。また、北海道ガスはコージェネ事業のコア事業であり、